

今日のトピック ブラジルの金融政策（2016年6月）

政策金利据え置き：レアルは底堅い展開

ポイント1 政策金利据え置き まだ高いインフレ

- ブラジル中央銀行（以下、中銀）は、6月8日、市場の予想通り、政策金利を14.25%に据え置くことを決定しました。政策金利の据え置きは、7会合連続となります。
- 中銀は、インフレ抑制政策の効果を認めながらも、インフレが中銀の物価目標上限を上回っていることを、政策金利据え置きの理由としています。

ポイント2 将来のインフレ率は低下へ 暫定政権はインフレ抑制方針

- インフレ率は16年5月の消費者物価指数が前年同月比+9.32%となり、前月とほぼ同水準でした。中銀調査による市場予想では、16年末に同+7.12%、17年末には同+5.50%に低下すると見られています。
- ルセフ大統領が職務停止となったことを受け発足した、テメル暫定政権は、「高インフレが生産活動を阻害している」と指摘し、インフレを抑制する考えを示しています。

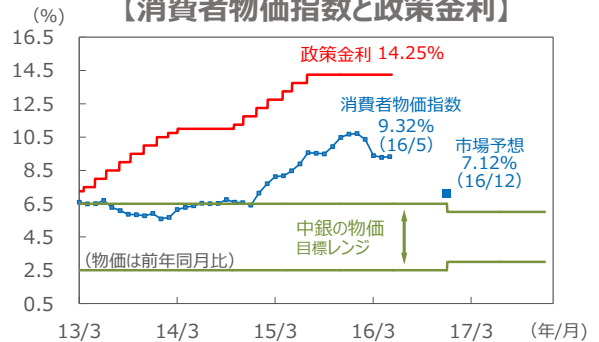
今後の展開 ブラジルのレアルはしっかりした推移へ

- ブラジルのレアルは、過去数年の下落傾向から底入れし、反発しています。原油を始めとする資源価格が上昇し、世界的に金融市場が安定化していることが主因ですが、足元では米国の利上げ観測が後退し、ドル安となったこともレアル上昇の要因です。
- 政治の不安定さは依然として残りますが、新政権の政策運営による経済状況の改善が期待されます。市場予想の通りインフレ率が低下すれば、中銀の利下げも視野に入ってくると考えられます。金融緩和は、ブラジルへの資金流入を促すことにつながり、レアル相場を支えると見られます。

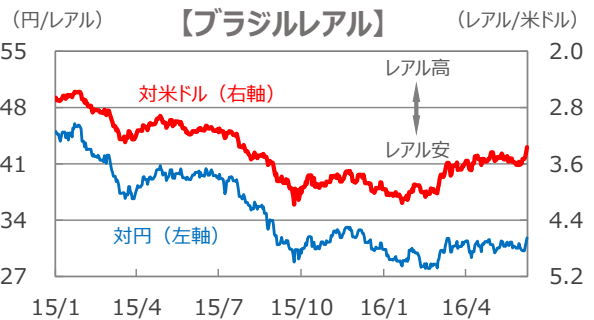
ここもチェック! 2016年5月12日 **ブラジル大統領の弾劾（2016年5月）**
2016年5月02日 **ブラジルの金融政策（2016年4月）**

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 政策金利は2013年3月1日～2016年6月8日。消費者物価指数は2013年3月～2016年5月。市場の物価予想は、中銀による6月3日付け市場予想。中銀の物価目標は年+4.5%。レンジは2016年末まで±2%、2017年は±1.5%。
(出所) Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2015年1月1日～2016年6月8日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成